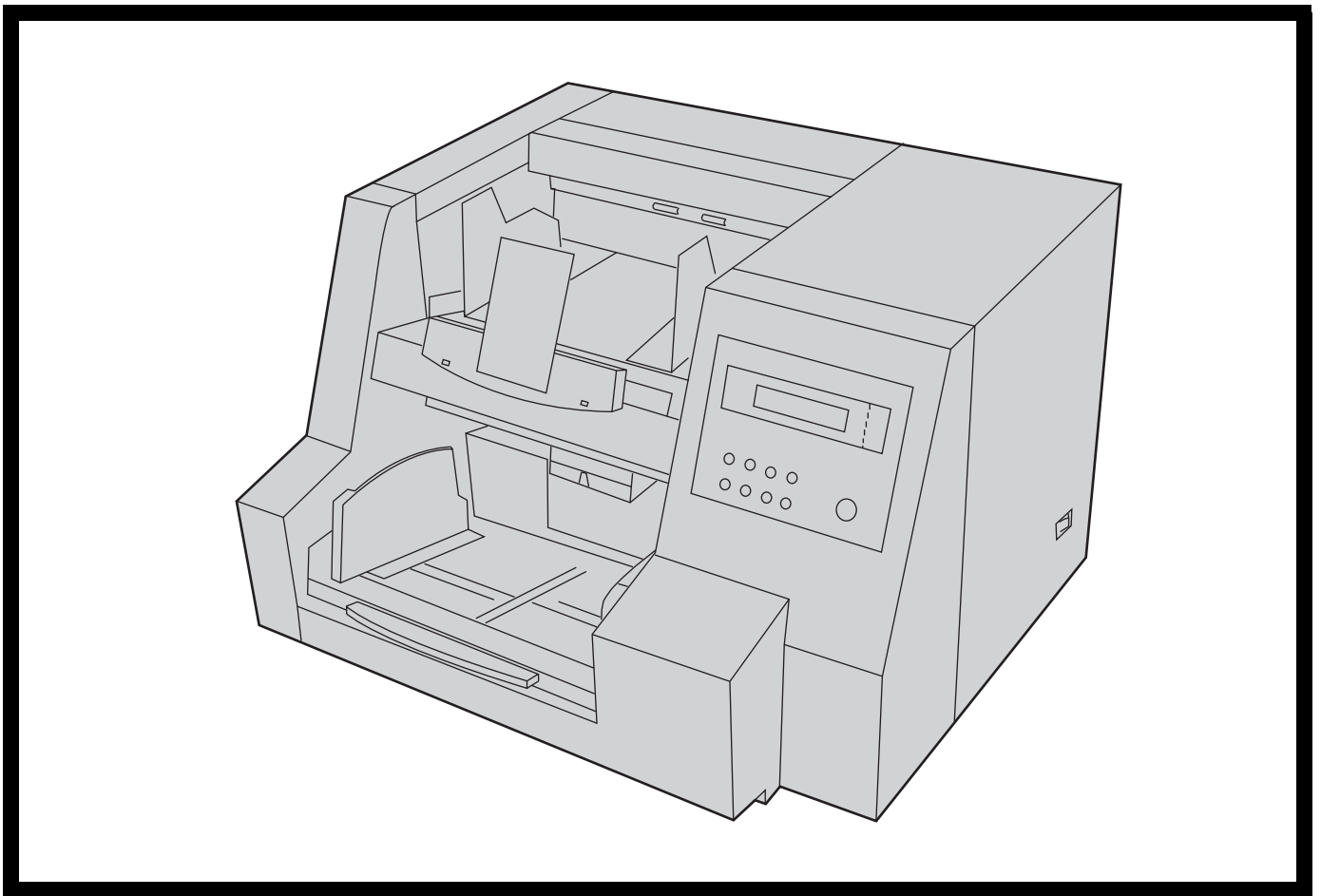


Panasonic®

設置説明書

高速カールスキャナー

品番 KV-S3105CN



上手に使って上手に節電



保証書別添付

- この設置説明書と取扱説明書、メンテナンスマニュアル、および保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」（4～9ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

このたびは、パナソニック「高速カラスキャナー」をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

本書の表記について

■ 本書では、操作上お守りいただきたいことなど、大切な情報を次のマークで表しています。

	操作上、お守りいただきたい重要事項や、禁止事項が書かれています。必ずお読みください。
	ご覧いただきたい参照ページを記述しています。

- Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ISIS、MultiStream、および QuickScan Pro は EMC Corporation の登録商標または商標です。
- Adobe、Reader は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国および／または各国での商標または登録商標です。
- Pentium はアメリカ合衆国および他の国におけるインテルコーポレーションおよび子会社の登録商標です。
- Adaptec は Adaptec, Inc の登録商標です。
- その他、各社名および各商品名は、各社の商標または登録商標です。
- 本書の記載内容は予告なしに変更される場合があります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。又、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行って下さい。
(J60950(H16)の要求による記述)

電源プラグは、抜き差しが容易にできる近くのコンセントに接続してください。

付属の電源コードは本機専用です。他の機器には使用しないでください。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し、不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。
(社団法人電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

もくじ

はじめに

安全上のご注意	4
正しくお使いいただくためのお願い	10

準備

本体を取り出す（付属品の確認）	11
排紙トレイストッパーと排紙ストッパーを取り付ける	12
スキャナーを使えるようにする	13
• 設置	13
• システムの必要条件について	14
• コンピューターに接続する	15
• 電源を入れる（切る）	16
• 液晶ディスプレイの表示言語を設定する	16
• READY/ERROR/SLEEP 表示ランプ（LED）について	17
• CD-ROM の内容	18
• 全てインストール	19
• 全ドライバーとユーティリティをインストール	20
• カスタムインストール	21
• アプリケーションのインストール	22
• 「Drivers & Utilities/Manuals」の CD-ROM 内のマニュアルの参照	22
• コンピューターにインストールされているマニュアルの参照	23
• スキャナードライバーのアンインストール	23

必要なとき

メモリーを増やすとき	24
• 拡張メモリー（DIMM モジュール）の準備	24
• 拡張メモリー（DIMM モジュール）の取り付け	24
再包装のしかた	27
保証とアフターサービス	28

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

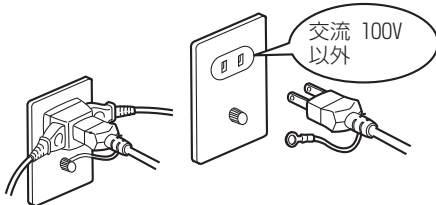


警告

■ コンセントや配線器具の定格を超える
使いかたや、交流 100 V 以外での使用
はしない



禁止



たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

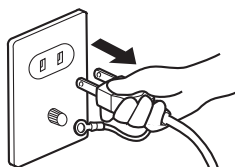
■ 電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

● 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■ 電源コードを引っばらず、電源プラグを持って抜く

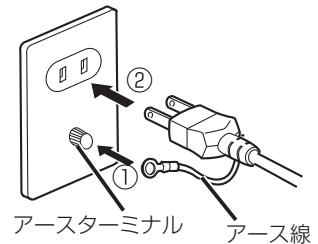


電源コードを傷め、火災・感電の原因になります。

■ 必ず、アース線接続を行う



アース線接続



漏電した場合は、火災・感電の原因になります。

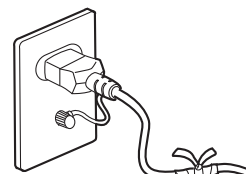
● アース線接続ができない場合は、お買い上げの販売店に相談してください。

■ 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、高温部に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない



禁止

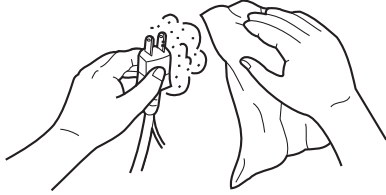


傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

● コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店に相談してください。

警告

■ 電源プラグのほこりなどは定期的にとる



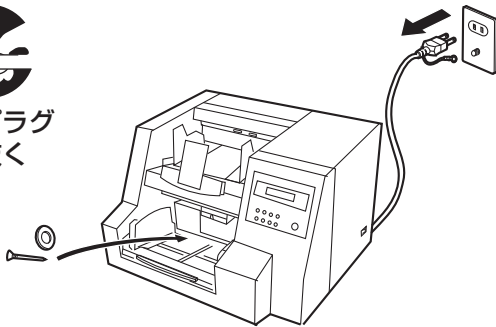
プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

■ 異物（金属片・水・液体）が機器の内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜く



電源プラグを抜く



そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

- お買い上げの販売店に連絡してください。

■ めれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



ぬれ手禁止

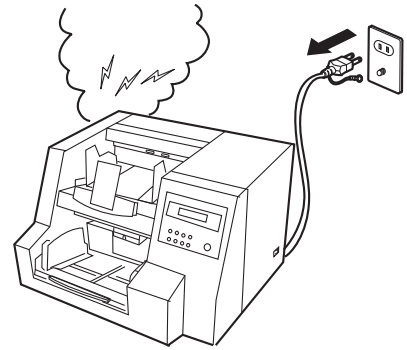


感電の原因になります。

■ 異常（発煙・発熱・異臭・異音）が発生した場合は、電源プラグをコンセントから抜く



電源プラグを抜く



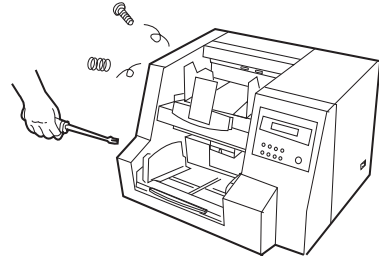
そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

- お買い上げの販売店に連絡してください。

■ 絶対にカバーを外したり、分解・改造をしない



分解禁止



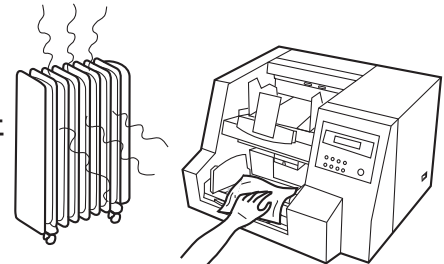
火災・感電の原因になります。

- 故障の場合は、電源スイッチを切り電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

■ ローラークリーニングペーパーは、火気の近くで使用しない



火気禁止



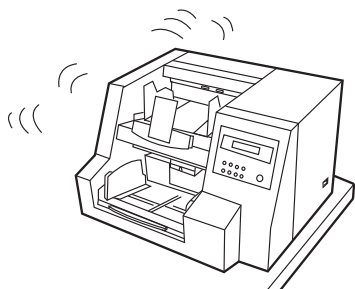
- 含まれたイソプロピルアルコールは揮発性のため、引火しやすく、火災の原因になります。

⚠ 注意

■ 不安定な場所に置かない



禁止

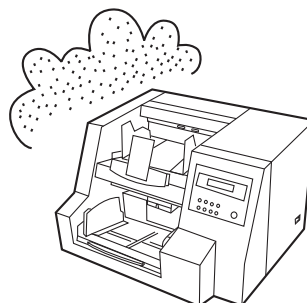


落ちて、けがの原因になることがあります。

■ 湿気やほこりの多い場所では使わない

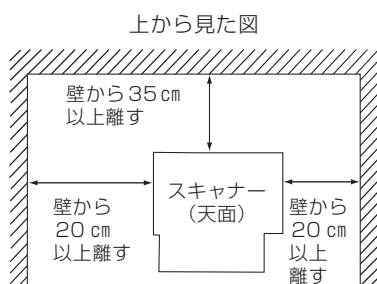


禁止



火災・感電の原因になることがあります。

■ 機器を壁から離す

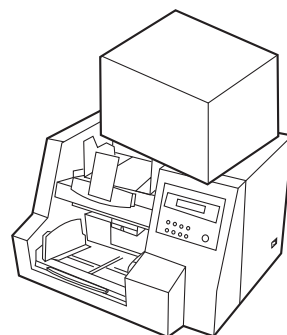


内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

■ 機器の上に重いものを置かない



禁止

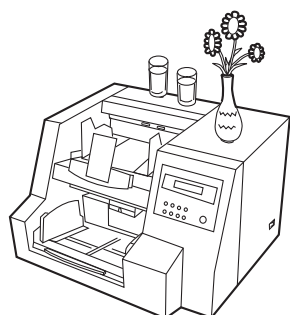


落ちて、けがの原因になることがあります。

■ 機器の上に花瓶・植木鉢・コップや水などの入った容器を置かない



禁止

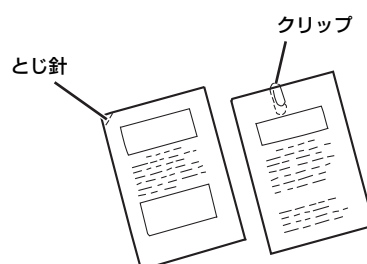


水などがこぼれて機器にかかると、火災・感電の原因になることがあります。

■ クリップやとじ針の付いた原稿を読み込ませない



禁止



クリップやとじ針が機器の内部に落ちて、火災の原因になることがあります。

⚠ 注意

- 落としたり、キャビネットを破損した場合は、電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜く



電源プラグを抜く

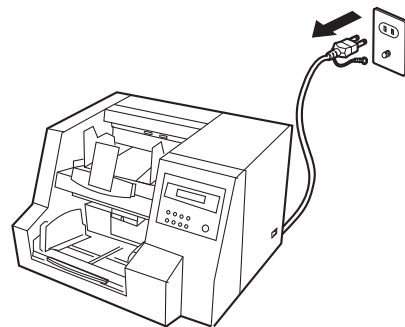
そのまま使用すると、火災・感電の原因になることがあります。

- お買い上げの販売店に連絡してください。

- 機器を移動させる場合は、必ず電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜く



電源プラグを抜く

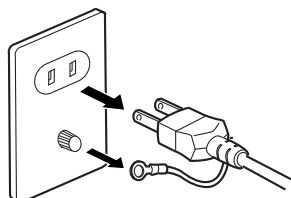


コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

- 連休などで長期間使用しないときは、電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜く

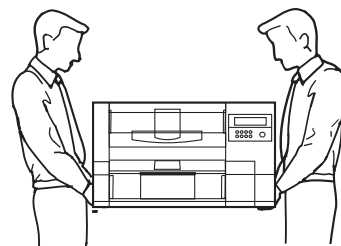


電源プラグを抜く



漏電により、火災の原因になることがあります。

- 機器を移動させる場合は、必ず2人以上で底面をしっかりと持つ

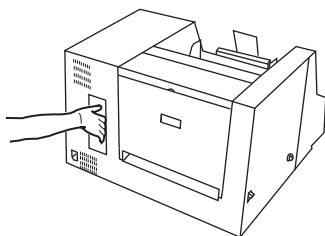


一人で持つと、落としてけがの原因になることがあります。

- ローラーに手を触れない



接触禁止

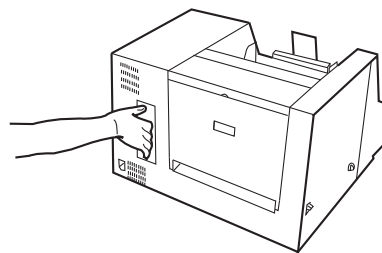


指を巻き込まれてけがの原因になることがあります。

- インターフェイスボードを外したとき、装置内に手を入れない



禁止



やけどや、けがの原因になることがあります。

⚠ 注意

- ローラークリーニングペーパーに含まれた液体を吸い込んだり、飲んだりしない



禁止

人体に害をおよぼすおそれがあります。

- 換気のよいところで使用してください。
- 使用中に気分が悪くなった場合は直ちに使用を中止し、新鮮な空気の所で安静にし、医師の診察を受けてください。

- ローラークリーニングペーパーを使うときは、保護手袋を使用する



皮膚の弱い人は、ローラークリーニングペーパーでかぶれるおそれがあります。


- 使用後は、石鹼でよく手を洗ってください。
- 誤って眼に入ったり、皮膚や顔についた場合は直ちに水で洗い、医師の診察を受けてください。

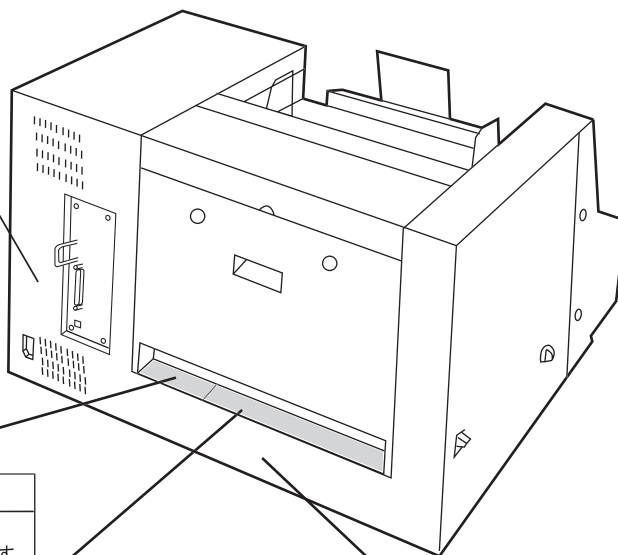
安全上のご注意



必ずお守りください


製品に貼られている安全上のラベル

はじめに

 **注意**
I/Fボードをはずしたとき、装置内に手を入れないでください。
けが・火傷の原因になります。



 **注意**
 ローラーに手を触れないでください。
指を巻き込まれてけがの原因になります。

 **警告** 感電の恐れがあります。
カバーをはずさないでください。

 CAUTION	 VORSICHT	 ATTENTION
 DO NOT TOUCH THE ROLLER. THIS MAY CAUSE PERSONAL INJURY.	 NICHT DIE ROLLE BERÜHREN. VERLETZUNGSGEFAHR.	 NE PAS TOUCHER LE ROULEAU. RISQUE DE BLESSURES.

正しくお使いいただくためのお願い

■ 直射日光の当たる場所や冷暖房機の近くに置かないでください

温度 30℃ 以上、15℃ 以下および湿度 80% 以上、20% 以下は誤動作、変形、故障の原因になります。

■ 静電気の発生しやすいじゅうたんなどの上には置かないでください

静電気が発生し、故障の原因になります。

■ お手入れのときは、柔らかい乾いた布を使用してください

研磨剤入りの洗剤やシンナー、ベンジンなどは使わないでください。
(変形、変色の原因になります。)

■ ローラークリーニングペーパーは、乳幼児の手の届かないところに保管してください

■ ローラークリーニングペーパーは、40℃ 以上になる場所や直射日光の当たる場所には保管しないでください

ペーパー内のアルコール分が蒸発し、クリーニング効果が低下することがあります。

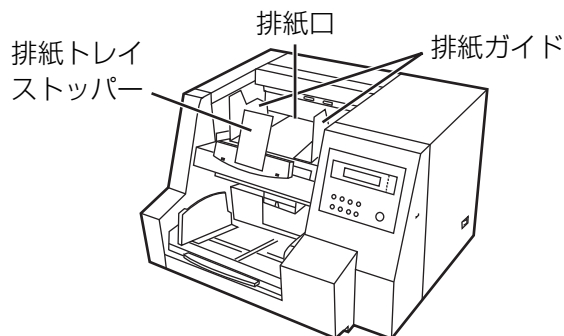
■ ローラークリーニングペーパーに関する詳細を知りたい場合は、安全データシート (MSDS) などの資料をお買い上げの販売店にご請求ください

■ 湿度の高いときや、寒い部屋から急に暖かい部屋に移動させた場合は、そのまま使用しないでください

機器が結露することがあります。そのまま使用しますと原稿読み取りが不十分となりますので、内部のローラーを乾いた布でふき、暖かい部屋に 1～2 時間放置して、内部が乾いてからご使用ください。

■ 排紙トレイストッパーは、下図のように必ず起こし、排紙ガイドは用紙に合わせた状態で使用してください

排紙口付近で原稿がつかまり、正常に動作しないことがあります。



■ ローラークリーニングペーパーは、ローラー・読み取り部ガラスの清掃以外の目的には使用しないでください

■ 大きな騒音を発生させる電気機器の近くには置かないでください

CD-ROM の取り扱い

■ CD-ROM の表裏に文字を書いたり、紙をはらないでください

データが正常に読み取れなくなります。

■ 信号面に触れないでください。また、持つときは、指紋や傷がつかないように持つてください

ラベルのない虹色の面は、データが書き込まれている信号面です。信号面が汚れると、データが正常に読み取れなくなります。

■ 長時間直射日光の当たるところや暖房機などの近くに放置しないでください

CD-ROM が変形し、データが正常に読み取れなくなります。

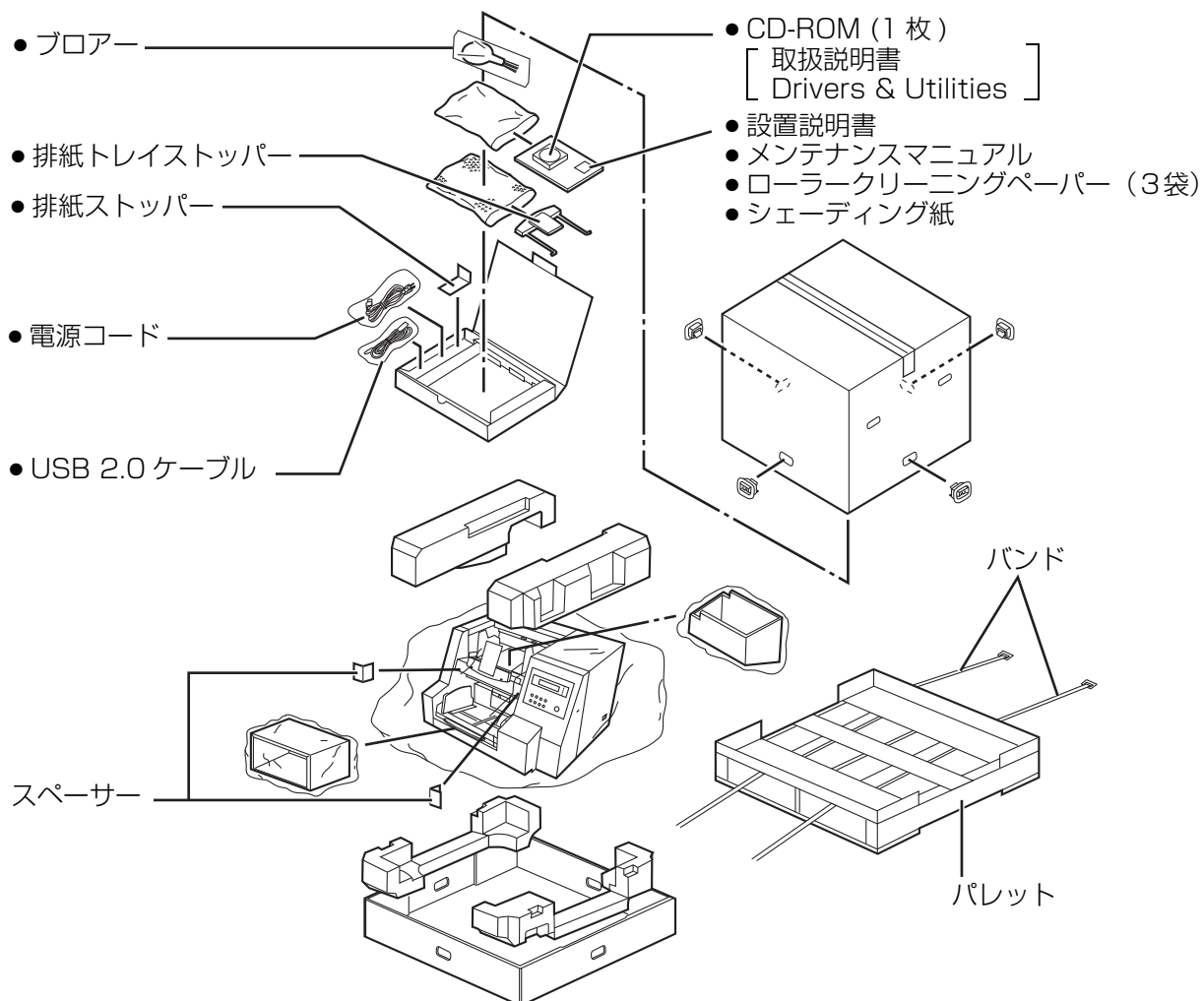
■ 投げたり、曲げたりしないでください

CD-ROM に傷がついたり、変形したりすると、データが正常に読み取れなくなります。

本体を取り出す（付属品の確認）

お願い

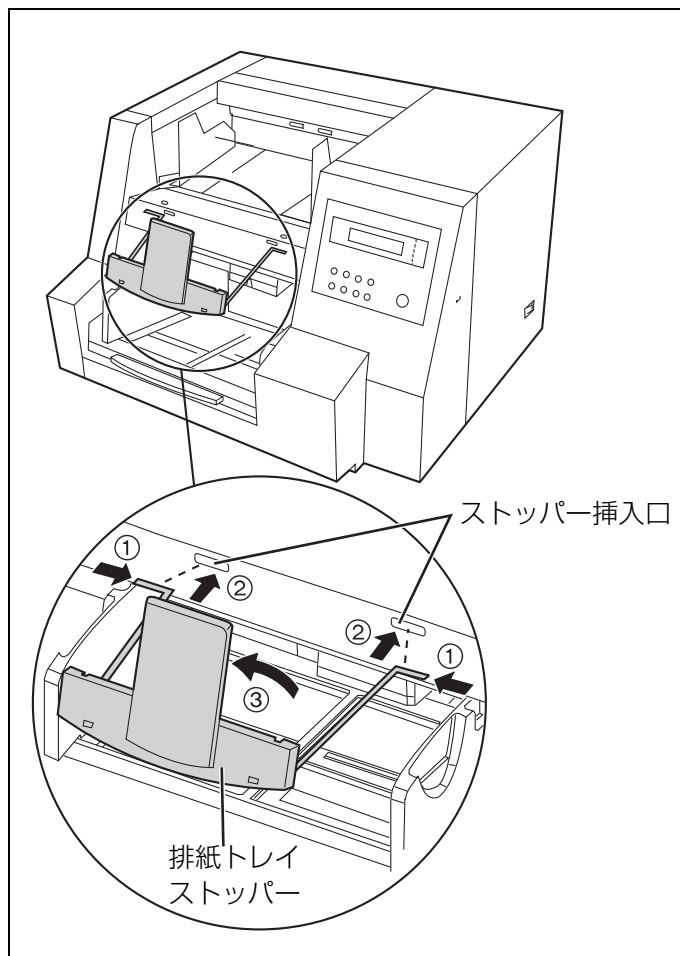
- 付属品がすべてそろっているかご確認ください。
万一不足の品がありましたら、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 輸送用包装箱、緩衝材などの包装資材は、再包装時に必要になりますので大切に保管してください。



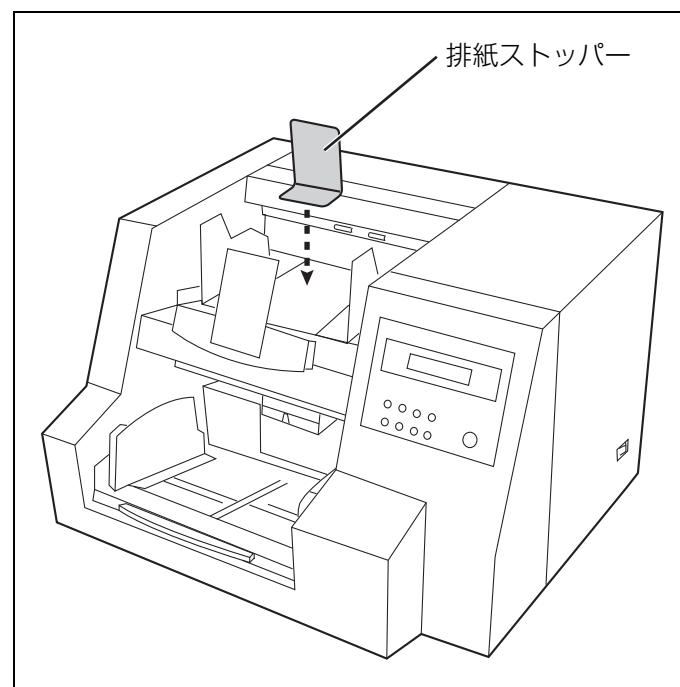
排紙トレイストッパーと排紙ストッパーを取り付ける

排紙トレイストッパーのワイヤーを内側にたわませて、ストッパー挿入口に差し込み、ストッパーのプラスチック部分を引き上げます。

(①, ②, ③の順で取り付けます。)



縦方向の短い用紙を使用する場合は、排紙ストッパーを排紙トレイの上に設置してください。



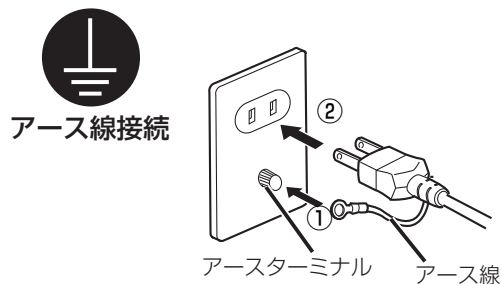
スキャナーを使えるようにする

■設置

本機を設置して、パソコンに接続します。

警告

■必ず、アース線接続を行う



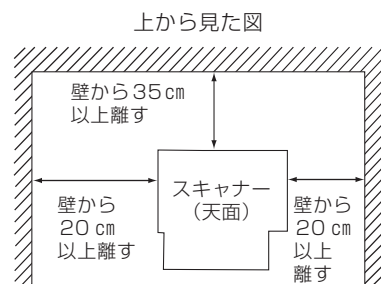
漏電した場合は、火災・感電の原因になります。

- アース線接続ができない場合は、お買い上げの販売店に相談してください。

※ アース工事については、本製品の価格には含まれておりません。

注意

■機器を壁から離す



内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

スキャナーを使えるようにする

■システムの必要条件について

	SCSI 接続時	USB 接続時
コンピューター	IBM® PC/AT® 互換機、CD-ROM ドライブ	
CPU	Pentium® III、1 GHz 以上	
OS	Windows® 2000* ¹ 、Windows® XP* ² 、Windows Vista™* ³ ※ 64 ビット版では動作しません。	
インターフェース	SCSI III 推奨 SCSI ボード Adaptec 社製 SCSI 29160、39160 シリーズ	USB 2.0
メモリー	512 MB 以上	
ハードディスク	空き容量 1 GB 以上	

*¹ Windows 2000 の正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 operating system です。

*² Windows XP の正式名称は、Microsoft® Windows® XP operating system です。

*³ Windows Vista の正式名称は、Microsoft® Windows Vista™ operating system です。

※この必要条件はすべてのオペレーティングシステム、同梱アプリケーションソフトウェアが推奨する条件を満たすものではありません。

※コンピューターの動作環境またはアプリケーションによっては、読み取り速度が異なる場合があります。

※USB1.1 で接続した場合、読み取り速度が遅くなりますので、USB2.0 インターフェースをご使用ください。

※USB ハブに接続した場合の動作は保証できません。

※スキャナーを他の SCSI 機器とデジチェーンで接続して使う場合の動作は保証できません。

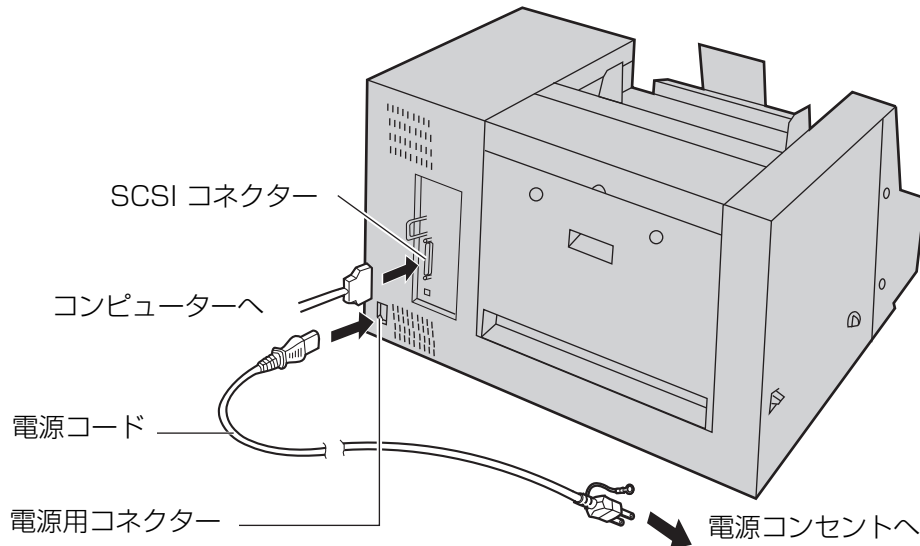
■コンピューターに接続する

「安全上のご注意」「正しくお使いいただくためのお願い」(4～10ページ)をよくお読みのうえ、適切な場所に設置し、下記の手順でコンピューターに接続します。

※ SCSI インターフェースケーブルと USB インターフェースケーブルの同時接続はできません。

SCSI インターフェース接続時

電源コードと SCSI インターフェースケーブルを、図のように接続します。

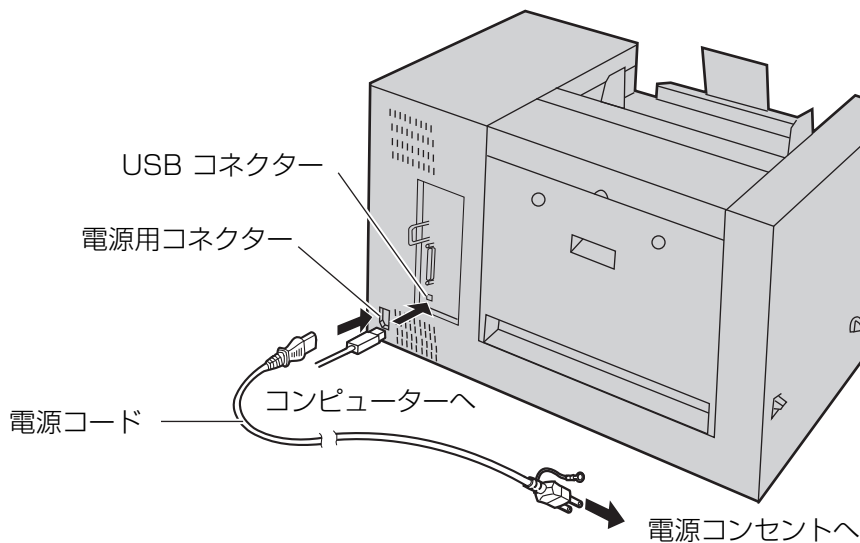


お願い

- 電源コードは、必ず付属品を使用してください。
- SCSI インターフェースケーブルは、必ずシールドされたもので、3 m 以下のものを使用してください。
- SCSI インターフェースケーブルを接続する前に、スキャナー本体とコンピューターの電源が切れていることを確認してください。
- 問題が発生した場合、取扱説明書 (CD-ROM) の「困ったとき!?(簡単なトラブル点検)」を参照してください。

USB インターフェース接続時

電源コードと USB インターフェースケーブルを、図のように接続します。



お願い

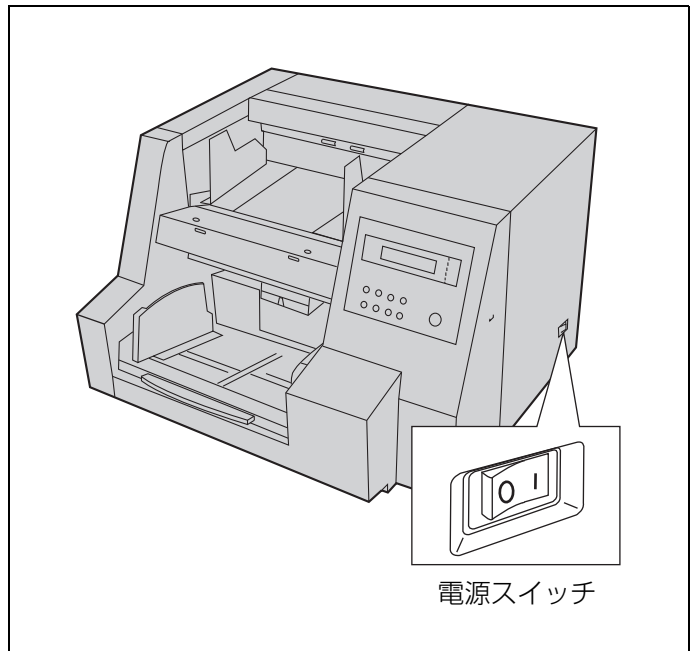
- 電源コードは、必ず付属品を使用してください。
- スキャナー本体に付属の USB インターフェースケーブルを使用してください。

スキャナーを使えるようにする

■電源を入れる（切る）

【電源を入れる場合】

- 1 電源スイッチを「|」側に倒します。
 - 表示ランプと液晶ディスプレイが点灯します。
- 2 液晶ディスプレイに「レディ」という表示が出たあとに、パソコンの電源を入れます。
 - 購入後、はじめてスキャナーの電源を入れると、ディスプレイの表示言語設定モードになります。

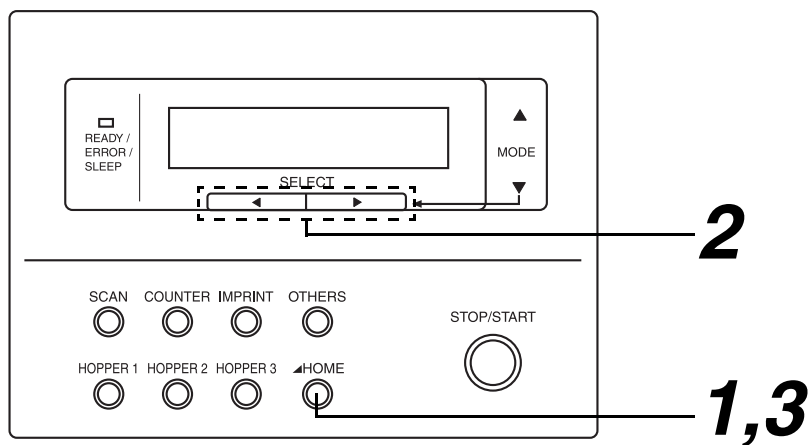


【電源を切る場合】

- 電源スイッチを「○」側に倒します。
- 表示ランプと液晶ディスプレイが消えます。

■液晶ディスプレイの表示言語を設定する

- 液晶ディスプレイに表示させる言語を、英語・ドイツ語・日本語の中から選択します。
- 購入後、最初に電源を入れた時は、自動的に言語設定モードになります。



- 1 言語設定モードに入るには、HOME キーを押したまま、電源を入れます。

S	e	t	L	a	n	g	u	a	g	e								←	→		
									E	n	g	l	i	s	h	L	e	t	t	e	r

お願い

- 液晶ディスプレイに何らかの文字が表示されたら HOME キーを離してください。

- 2 ◀または▶ キーで、「English Letter」「English A4」「Deutsch A4」「ニホンゴ A4」のいずれかを選択します。

S	e	t		L	a	n	g	u	a	g	e						←	→
																		A 4

- 3 HOME キーを押します。

- 液晶ディスプレイの表示が、選択された言語に変わり、「レディ」状態になります。
- この設定は、次に設定を変更するときまで保持されます。

レ	デ	ィ																

■READY/ERROR/SLEEP 表示ランプ (LED) について

READY/ERROR/SLEEP 表示ランプ (LED) は下表のようにスキャナーの状態を示します。

LED	スキャナーの状態
緑	待機中、スキャン中
緑 (点滅)	省電力モード
燈	初期化中または注意あり
燈 (点滅)	省電力モード (注意あり) ※ 1
赤	エラー発生時

- ※ 1: ローラーを清掃または交換する必要があります。
 ローラーの清掃については、メンテナンスマニュアルか取扱説明書 (CD-ROM) を参照してください。
 ローラーの交換については、別売りのローラー交換キットに付属の説明書を参照してください。

スキャナーを使えるようにする

■CD-ROM の内容

内 容		対象ユーザー
ドライバー インストール	デバイスドライバー	全ユーザー
	TWAIN	TWAIN アプリケーションユーザー
	ISIS	ISIS アプリケーションユーザー
アプリケーション インストール	RTIV	RTIV ユーザー
	マルチカラードロップアウト (MCD) ユーティリティ	全ユーザー
	QuickScan Pro™ 体験版	全ユーザー
マニュアルの 参照	PIE リファレンスマニュアル	ISIS / TWAIN ドライバーユーザー
	RTIV リファレンスマニュアル	RTIV ユーザー
	取扱説明書	全ユーザー
その他	コントロールシート	全ユーザー

- RTIV(Reliable Throughput Imaging Viewer) は Panasonic のオリジナルアプリケーションソフトです。TWAIN ドライバーや ISIS ドライバーは必要ありません。
- PIE は Panasonic Image Enhancement technology の略語です。
- 各マニュアルは PDF フォーマットファイルですので、参照するには、Adobe® Reader® のインストールが必要となります。
- TWAIN 仕様のアプリケーションは付属していません。
- QuickScan Pro は、試用版のため使用制限があります。
- QuickScan Pro を使用する場合は、ISIS ドライバーが必要です。
- マルチカラードロップアウト・ユーティリティの使い方の詳細は、PIE リファレンスマニュアルか RTIV リファレンスマニュアルをご参照ください。
- コントロールシートは付属している「Drivers & Utilities」CD-ROM に PDF 形式で保存されています。読み取る原稿と同じサイズのコントロールシートを印刷して使用してください。

お 願 い

- Windows 2000、Windows XP、Windows Vista をお使いの場合必ずアドミニストレーターの権限でログインしてください。

■全てインストール

「全てインストール」を選択すると、すべてのドライバー、アプリケーション、ユーティリティ、およびマニュアルを全部まとめてインストールすることができます。

- 1 スキャナーの電源が切れていることを確認してください。
- 2 コンピューターの CD/DVD ドライブに「Drivers & Utilities/Manuals」の CD-ROM を挿入します。
- 3 クイックメニューソフトウェアが自動で起動します。

お知らせ

- Windows Vista で自動再生のダイアログボックスが表示される場合には、CDRun.exe を選択します。
 - クイックメニューソフトウェアが自動起動しない場合は、マイコンピュータから CD/DVD ドライブを選び、CDRun.exe をダブルクリックしてください。
- 4 ご使用になるスキャナーを選択します。
 - 5 左側の「Installation」内の「全てインストール」を選択します。
 - 6 画面に表示される指示に従ってください。
Windows Vista で「ドライバソフトウェアの発行元を検証できません。」のメッセージが表示された場合、「このドライバソフトウェアをインストールします」を選択してインストールを続けてください。
 - 7 スキャナーの電源を入れます。
 - 8 ハードウェアウィザードの指示に従って、インストールを完了してください。
Windows Vista の場合は、自動的に実行されます。

「Windows *ロゴテストに合格していません。」または「デジタル署名が見つかりませんでした。」などのメッセージが表示されても、そのままインストールを続けてください。

* Windows の正式名称は、Microsoft® Windows® operating system です。

スキャナーを使えるようにする

■全ドライバーとユーティリティをインストール

「全ドライバーとユーティリティをインストール」を選択すると、すべてのドライバー、ユーティリティ、およびマニュアルをインストールすることができます。

- 1 スキャナーの電源が切れていることを確認してください。
- 2 コンピューターの CD/DVD ドライブに「Drivers & Utilities/Manuals」の CD-ROM を挿入します。
- 3 クイックメニューソフトウェアが自動で起動します。

お知らせ

- Windows Vista で自動再生のダイアログボックスが表示される場合には、CDRun.exe を選択します。
 - クイックメニューソフトウェアが自動起動しない場合は、マイコンピュータから CD/DVD ドライブを選び、CDRun.exe をダブルクリックしてください。
- 4 ご使用になるスキャナーを選択します。
 - 5 左側の「Installation」内の「全ドライバーとユーティリティをインストール」を選択します。
 - 6 画面に表示される指示に従ってください。
Windows Vista で「ドライバソフトウェアの発行元を検証できません。」のメッセージが表示された場合、「このドライバソフトウェアをインストールします」を選択してインストールを続けてください。
 - 7 スキャナーの電源を入れます。
 - 8 ハードウェアウィザードの指示に従って、インストールを完了してください。
Windows Vista の場合は、自動的に実行されます。

「Windows ログテストに合格していません。」または「デジタル署名が見つかりませんでした。」などのメッセージが表示されても、そのままインストールを続けてください。

■カスタムインストール

「カスタムインストール」を選択すると、必要なドライバーやユーティリティー、およびマニュアルを個別に選択してインストールすることができます。

- 1 スキャナーの電源が切れていることを確認してください（Device Driver のインストール時のみ）。
- 2 コンピューターの CD/DVD ドライブに「Drivers & Utilities/Manuals」の CD-ROM を挿入します。
- 3 クイックメニューソフトウェアが自動で起動します。

お知らせ

- Windows Vista で自動再生のダイアログボックスが表示される場合には、CDRun.exe を選択します。
 - クイックメニューソフトウェアが自動起動しない場合は、マイコンピュータから CD/DVD ドライブを選び、CDRun.exe をダブルクリックしてください。
- 4 ご使用になるスキャナーを選択します。
 - 5 左側の「Installation」内の「カスタムインストール」を選択します。
 - 6 インストールするドライバー、ユーティリティー、またはマニュアルを選択します。
 - 7 画面に表示される指示に従ってください。
Windows Vista で「ドライバソフトウェアの発行元を検証できません。」のメッセージが表示された場合、「このドライバソフトウェアをインストールします」を選択してインストールを続けてください。

Device Driver をインストールする場合は、以下の手順を続けて実行してください。

- 8 スキャナーの電源を入れます。
- 9 ハードウェアウィザードの指示に従って、インストールを完了してください。
Windows Vista の場合は、自動的に実行されます。

「Windows ログテストに合格していません。」または「デジタル署名が見つかりませんでした。」などのメッセージが表示されても、そのままインストールを続けてください。

スキャナーを使えるようにする

■アプリケーションのインストール

RTIV*または QuickScan Pro*体験版を、必要に応じてインストールすることができます。

* 画像をコンピューターに読み込むためのアプリケーションです。

- 1 コンピューターの CD/DVD ドライブに「Drivers & Utilities/Manuals」の CD-ROM を挿入します。
- 2 クイックメニューソフトウェアが自動で起動します。

お知らせ

- Windows Vista で自動再生のダイアログボックスが表示される場合には、CDRun.exe を選択します。
 - クイックメニューソフトウェアが自動起動しない場合は、マイコンピュータから CD/DVD ドライブを選び、CDRun.exe をダブルクリックしてください。
- 3 ご使用になるスキャナーを選択します。
 - 4 「Installation」内の「アプリケーション」の下に表示される「RTIV」または「QuickScan Pro™ 体験版」を選択します。
 - 5 画面に表示される指示に従ってください。
Windows Vista の場合は、自動的に実行されます。

「Windows ログテストに合格していません。」または「デジタル署名が見つかりませんでした。」などのメッセージが表示されても、そのままインストールを続けてください。

■「Drivers & Utilities/Manuals」の CD-ROM 内のマニュアルの参照

「Drivers & Utilities/Manuals」の CD-ROM 内のマニュアルは、Adobe Reader を使って参照することができます。

- 1 コンピューターの CD/DVD ドライブに「Drivers & Utilities/Manuals」の CD-ROM を挿入します。
- 2 クイックメニューソフトウェアが自動で起動します。

お知らせ

- Windows Vista で自動再生のダイアログボックスが表示される場合には、CDRun.exe を選択します。
 - クイックメニューソフトウェアが自動起動しない場合は、マイコンピュータから CD/DVD ドライブを選び、CDRun.exe をダブルクリックしてください。
- 3 ご使用になるスキャナーを選択します。
 - 4 「Manuals」内の参照したいマニュアルを選択します。

■コンピューターにインストールされているマニュアルの参照

「Drivers & Utilities/Manuals」のCD-ROM内のマニュアルがすでにコンピューターにインストールされている場合は、以下の手順で参照することができます。

- 1 [スタート] をクリックし、[すべてのプログラム] – [Panasonic] – [Scanner Manuals] をクリックします。
 - Windows 2000 では、[すべてのプログラム] は [プログラム] と表示されています。
- 2 参照したいマニュアルを選択します。

お知らせ

- 「Drivers & Utilities/Manuals」のCD-ROM内のマニュアルをコンピューターにインストールする方法については、21 ページをご参照ください。

■スキャナードライバーのアンインストール

スキャナードライバーをコンピューターから削除する場合は、以下の方法でアンインストールしてください。

- 1 [コントロールパネル] の [プログラムの追加と削除] を選択します。
(Windows 2000 をご使用の場合は「アプリケーションの追加と削除」を選択。)
(Windows Vista をご使用の場合は「プログラムのアンインストール」を選択。)
- 2 [Panasonic High Speed Scanner Device Driver] を選択し、削除 (アンインストール) します。
- 3 画面の指示に従ってください。
 - TWAIN / ISIS / RTIV / ユーザーユーティリティ / マルチカラードロップアウトユーティリティをアンインストールする場合には、デバイスドライバーのアンインストール手順と同じように [コントロールパネル] より行ってください。

メモリーを増やすとき

■拡張メモリー（DIMM モジュール）の準備

本機は、64MB のメモリーが標準装備されています。原稿の読み取りにおいて、用紙サイズや解像度の組み合わせによっては、最大 512MB の拡張メモリー（DIMM モジュール）が必要になります。（例：A3 サイズの両面原稿を 600dpi、8 bit 多値で読み取る場合など）

必要な拡張メモリーのサイズについては、PIE リファレンスマニュアルの「3.4 画像タイプ」を参照してください。

本機で使用できる DIMM モジュールについて

- JEDEC 仕様準拠 168pin DIMM
- Single +3.3V ± 0.3V
- 100MHz/CL=2, 133MHz/CL=2, 133MHz/CL=3
- 64MB、128MB、256MB、512MB

（参考）本機で評価を実施した DIMM

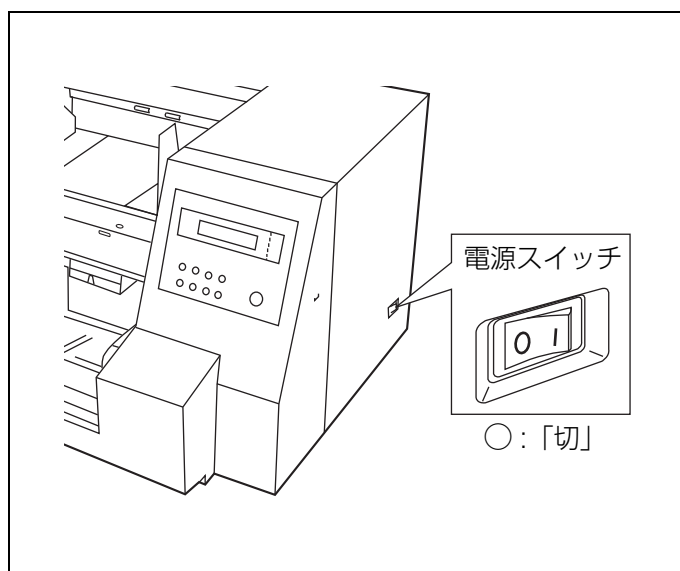
EDGE 128MB Module
EDGE 256MB Module
EDGE 512MB Module
Kingston 128MB Module
Kingston 256MB Module
Kingston 512MB Module

■拡張メモリー（DIMM モジュール）の取り付け

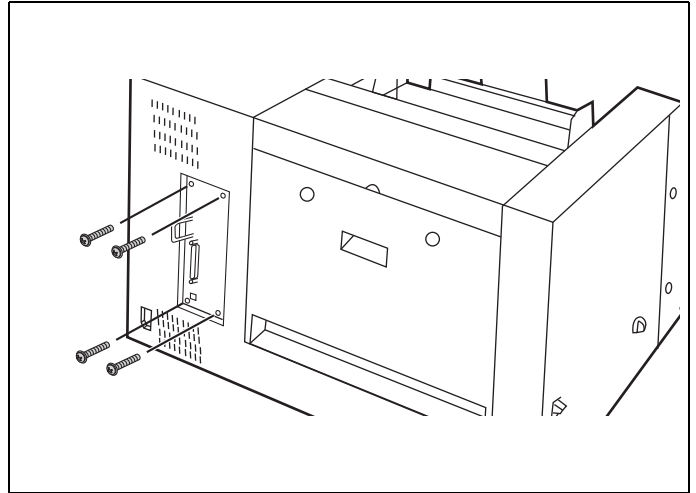
準備した DIMM モジュールをスキャナー本体のインターフェース基板に取り付けます。

● インターフェース基板を取り外す

- 1 スキャナー本体の電源を切り、インターフェースケーブルと電源プラグをコンセントから抜きます。

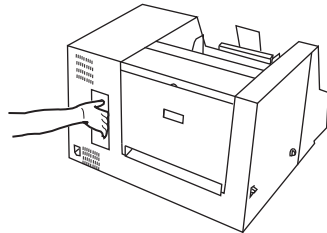


- 2** 4ヶ所のネジを取り外します。
- これらのねじは、「インターフェース基板を取り付ける」の手順2で使用します。
- 3** ハンドルを引いてインターフェース基板を取り外します。

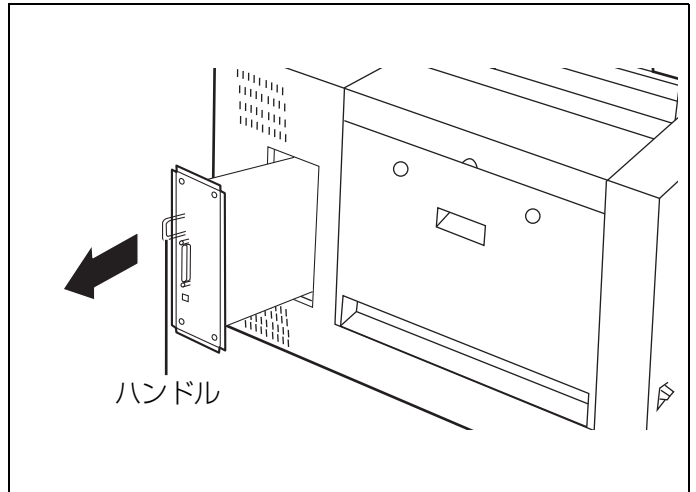


注意

■ インターフェース基板を外したとき、装置内に手を入れない



やけどや、けがの原因になることがあります。



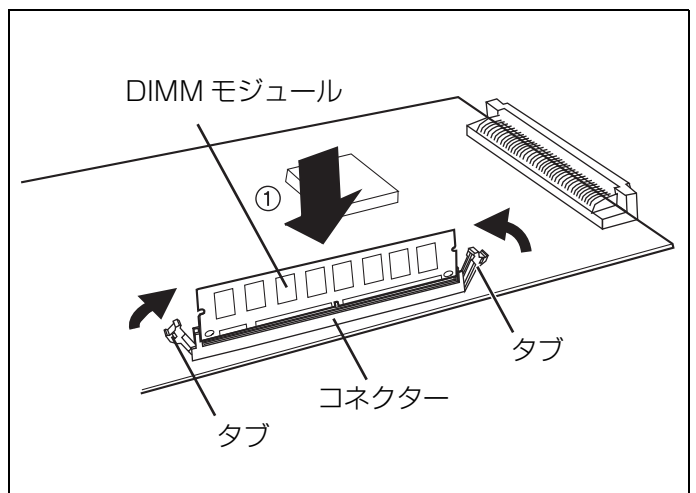
必要なとき

● DIMM モジュールを取り付ける

DIMM モジュールの両端をつかんでインターフェース基板のコネクターに「カチッ」と音がするまで差し込みます。

お願い

- DIMM モジュールは、切り欠きが必ず左側にくるように取り付けてください。
- DIMM モジュールを取り外すときは、コネクター両側にあるタブを引いてください。

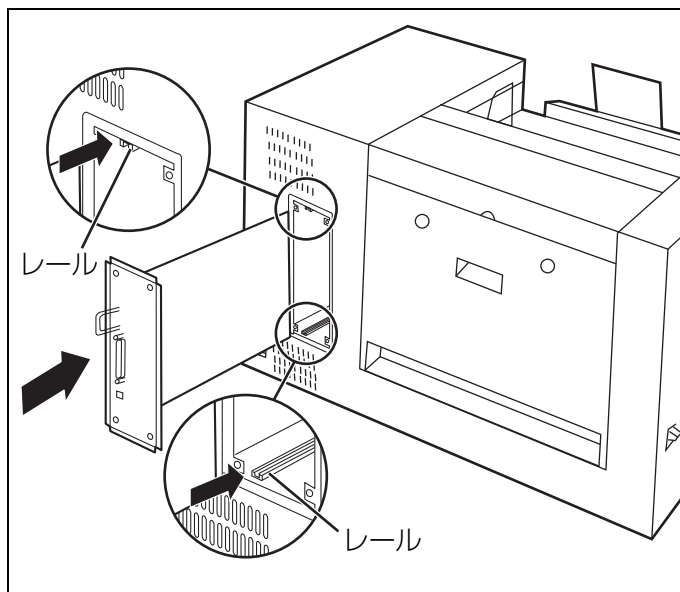


メモリーを増やすとき

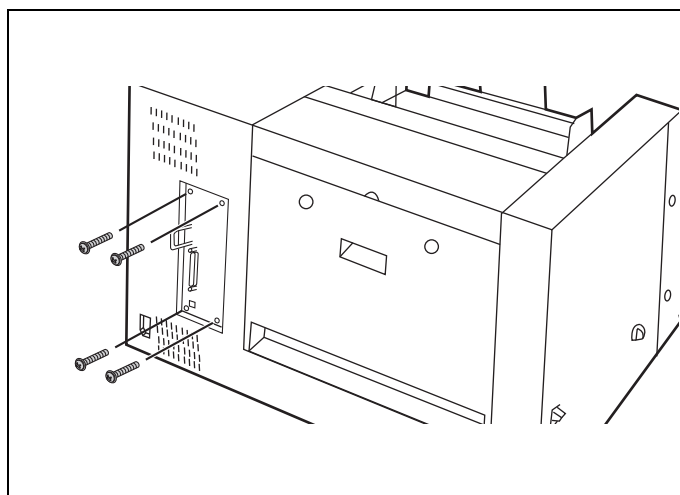
● インターフェイス基板を取り付ける

1 インターフェイス基板をレールに沿ってスキャナー本体に挿入し、奥までしっかりと押し込みます。

- インターフェイス基板が奥まで完全に挿入されていることを確認してください。



2 「インターフェイス基板を取り外す」の手順2で取り外したネジで、インターフェイス基板を固定します。



再包装のしかた

本機を移設する場合は、下記の手順に従って再包装してください。

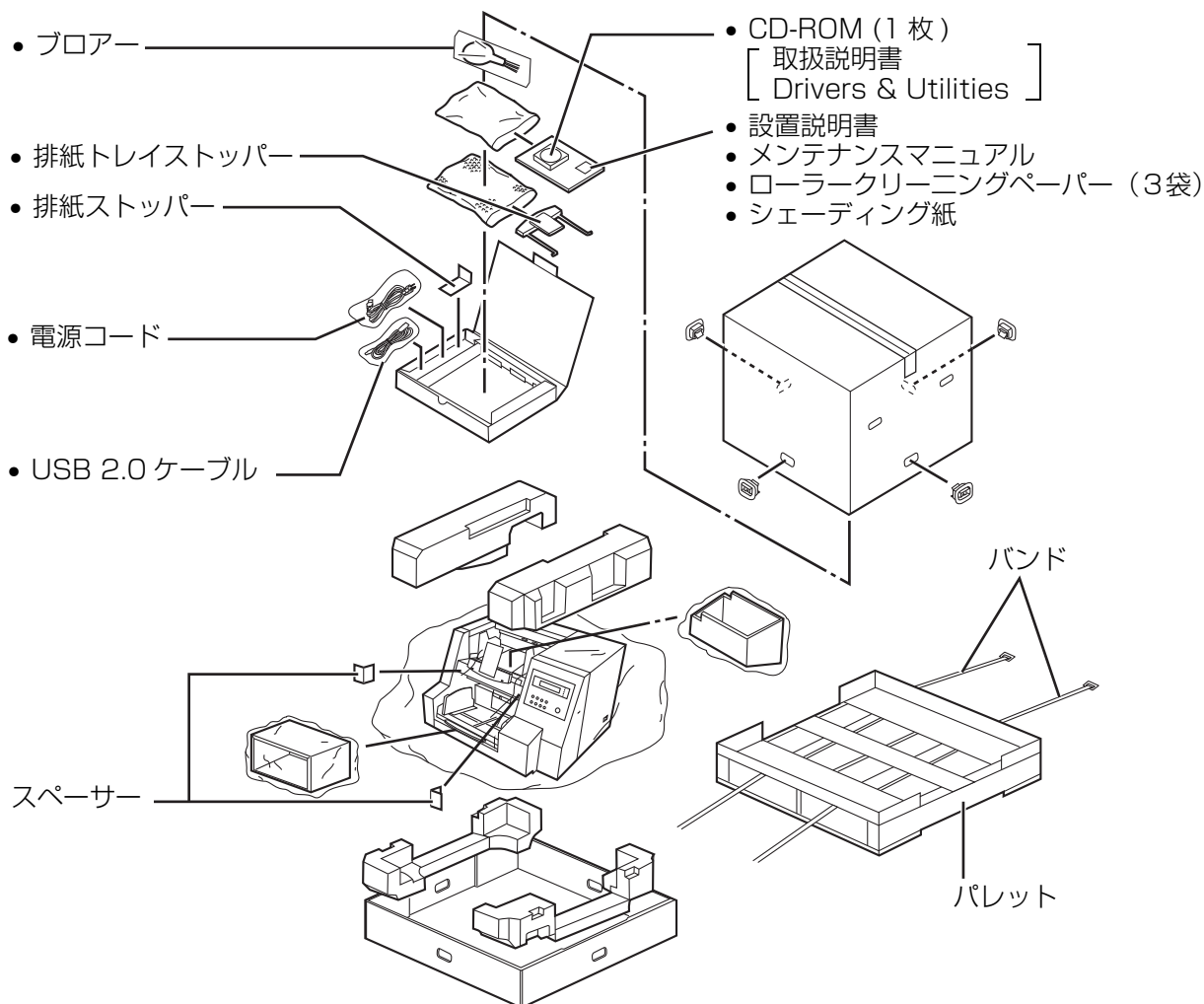
包装時に必要なもの：

- 本機専用の包装箱・包装資材

お願い

- 再包装する際は、必ず本機専用の包装箱・包装資材をご使用になり、バンドで包装箱とパレットをしっかりと固定してください。
- 再包装が適切に行われていないと本機が故障し、修理に費用がかかりますので十分注意してください。
- 包装時および運搬時は、本機を倒さないでください。

- 1** 電源スイッチを切って、コンセントから電源プラグを抜き、インターフェースケーブルを外します。
- 2** 排紙ストッパー、排紙トレイストッパーを本機から取り外します。
- 3** 本機を付属品と一緒に包装します。



必要なとき

修理・お取り扱い・お手入れ

などのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この高速カラスキャナーの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼される時

取扱説明書 (CD-ROM) 55～59ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容

品名	高速カラスキャナー
品番	KV-S3105CN
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバーディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です)

お買い上げ日	年 月 日	品 番	KV-S3105CN
販売店名	電話 () -		

パナソニック システムネットワークス株式会社

© Panasonic System Networks Co., Ltd. 2005



PJQFC0010TA K0305M6010